

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	食道 ESD/EMR における偶発症に関する全国調査
研究責任者 (所属科名)	永田信二 消化器内科 主任部長/副院長
本研究の目的・意義	<p>【背景】食道 EMR および ESD では、出血や穿孔、縦隔炎、食道狭窄といった偶発症が起こることが報告されています。穿孔や縦隔炎はときに重篤な感染症を併発することがあり、食道狭窄は難治性の狭窄となり、患者様の QOL を著しく損なうことがあります。これまでの偶発症に関する報告の多くは単機関研究か、一部地域での多機関研究であり、全国規模での偶発症調査の報告はありません。全国規模で行う調査の結果は、EMR および ESD に伴う偶発症発生リスクを予測する上で貴重な情報となります。</p> <p>【目的】食道学会が主導で行う偶発症調査により、食道 EMR および ESD の偶発症の発生状況とその詳細を明らかにすることが目的です。本研究の結果は食道 EMR および ESD に伴う偶発症発生リスクを予測する上で貴重な情報となります。</p> <p>【対象】当院において、2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日と 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日に食道 ESD または EMR を施行した患者様です。</p> <p>【方法】入力フォームに必要なデータを入力します。 収集するデータ項目は、患者様背景、切除した腫瘍の臨床病理学的な特徴、治療成績等です。 EMR および ESD の偶発症発生割合、偶発症毎の発生割合、偶発症の要因をアウトカム（評価項目）とします。</p>
調査方法・研究期間	<p>後ろ向き観察研究</p> <p>データ収集期間：2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日と 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日</p> <p>研究期間：2024 年 3 月までを予定しています。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>上記期間の間に当院で食道 ESD または EMR を施行した患者様です。</p>

	<p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある以下の診療記録、検査データ等を利用します。患者様背景、短期治療成績・長期予後等</p>
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
共同研究機関	<p>多施設で行う臨床研究ですが、治療後より経過の追えない患者様に関してかかりつけ医に問い合わせを行う場合がございます。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>広島市立北部医療センター安佐市民病院 研究担当者：消化器内科 部長 朝山 直樹 電話：082-815-5211</p>
備考	